

令和7年12月31日 吉田連合会長 承認済			
令和7年度 12月 連合理事会議事録			
日 時	令和7年12月27日（土）17：00～19：00	場 所	第一自治会館
参加者	吉田、渡邊、三枝、苅谷、和泉、柴田、小原 出席者：7名 会長代理不在、欠席者：鷹尾、深谷、他：大畑（深谷理事代理で出席）書記：小原		
理事会資料配布			
(1) 連合会長選挙について (2) 会則・細則変更すべき点洗い出し (3) 2026年度連合体制について (4) 自治会・連合未来像案 (配布資料) ①のぞみ野自治連合会 会長選挙に関するお知らせ（公示） ②第1章 役員等の選出、③2026年度(R8)連合役員・各委員名簿（案） ④各自治会班長会議事録（11、12月）、⑤のぞみ野自治会が目指すべき姿			
議題			
1. 連合会長選挙について(説明：小原 周知) (資料一①②) 2026年度の連合会長選挙について以下手順で実施する。 ①立候補届け出12月25日～1月15日迄（連絡文書作成回覧中） ②複数の場合は、1月末迄に代議員投票を実施。最高得票者を会長とする。 ③立候補者がいない場合は、理事会で選出し大会の承認を得る。			
2. 会則・細則変更すべき点の洗い出しについて ・昨年度のぞみ野自治連合会会則・細則を見直し一通り改定実施しているが、新たな必要改定箇所があれば、1月の次回理事会に持ち寄る。			
3. 2026年度連合体制について（資料一③） ・2026年度の連合役員・各委員（一部継続・選出有り）を来年3月には、継続・新規を含め選出決定次期になる事を周知した。			
4. のぞみ野自治会が目指すべき姿（案）（説明：和泉 協議：各理事）（資料一⑤） ・のぞみ野自治会員減少している実情を踏まえ、のぞみ野自治会・連合の未来像として 目指すべき姿の以下凡例を説明して貰い協議実施。 (1) 心理的ハードルを下げる ①行事の断捨離とスリム化：恒例で行っている行事を見直し、ニーズの低いものは廃止・縮小。 ②「1役1人制」の導入：役員の任期や役割を縮小し特定のイベントだけ手伝う 「スポット・ボランティア制」 ③デジタル化：回覧板をLINEや専用アプリに置き換え、集金もキャッシュレス化を検討。 (2) 自治会加入メリットの可視化（おトク感の創出） ①地元店舗との提携：自治会カードの提示で近所の飲食店等で割引価格のサービスを受けられるキャンペーンの実施等 ②防災設備の優先配布：加入世帯には、個別避難計画の作成支援や防災グッズ等の配布実施。 ③共用備品のレンタル：高圧洗浄機・キャンプ用品・台車等、たまにしか使用しない高額備品を会員限定で貸し出す。			

(3) コミュニティの質の向上（「監視」ではなく「見守り」の空気感を創り出す）

①属性別のコミュニティの支援：シニアの趣味サークルだけでなく子育て世代向けの
パパママ会・フリーランス向けのコワーキング解放等。

②ウエルカムパックの配布：転入者にゴミ出しのルール・近隣のグルメ・病院情報などを
まとめたガイドブックを渡し、最初の接触をポジティブにする。

(4) 広報戦略のアップデート「入るのが当たり前」の姿勢でなく、マーケティングの視点を
取り入れる。

①トーン：○○のお願い・義務感⇒提案・ワクワク感

②媒体：紙⇒SNS（Instagram/公式LINE/HP）

③内容：活動報告（議事録的）⇒利用者の声・活動ビフォーアフター

・いきなり全てを変えるのは反発も大きい「自治会アンケート」を実施しニーズの優先順位を
明確にし自治会運営に対し、「何が負担か」「どんなサービスがあれば加入したいか？」を確認し
住民ニーズに即した対応も必要。

・施策を説明して貰い、同感部分は数多くある意見が出た。又、防災活動は本来、自治会加入・未加入関
係なく対応必要で、有事の対応者（ホース操法・消火栓取り扱い習得している人）を明確にしておく必要
がある等の意見もあり。今後もより良くすべき協議していく。

5. 連合便り（連合会長出席）

・12月20日：根形自治連絡会

・12月26日：根っ子の会 愛パトロール参加

6. 次回、理事会の予定

1月24日（土）18：00～20：00 連合理事会（第一自治会館）

以上